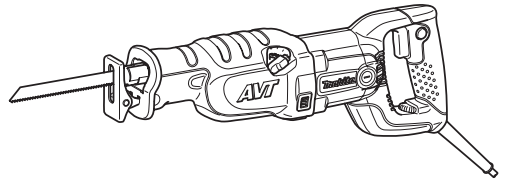


Makita

取扱説明書

レシプロソー

☐ モデル JR3070CT
(無段変速)



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはレシプロソーをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ レシプロソー安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ 使い方	15
・ ブレードの取り付け・取りはずし方	15
・ シューの位置調整	17
・ スイッチの操作	17
・ ストローク数の調整	18
・ オービタル運動量の調整	19
・ 切断方法	20
・ 保守・点検について	21
・ カーボンブラシの交換	21
・ 本製品のお手入れ	21
・ 修理の際は	21

主要機能

主要機能	モデル	JR3070CT
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相交流 100 V
電流		15 A
周波数		50-60 Hz
消費電力		1,430 W
ストローク		32 mm
ストローク数		0 ~ 2,800 min ⁻¹ (回 / 分)
切断能力		パイプ：φ 130 mm 木材：120 mm
本製品寸法		長さ 485 mm × 幅 99 mm × 高さ 181 mm
質量		4.4 kg

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- | | |
|---|--|
|  警告 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。 |
|  注意 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
|  注 | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。 |

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときには、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、レシプロソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
2. 使用中は、本体を確実に保持してください。
3. 使用中は、工具類（ブレードなど）や切りくずなどに手や顔などを近づけないでください。
4. 使用中、工具類（ブレードなど）が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れなどの恐れがあります。使用前に埋設物がないかどうか十分確認してください。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ブレードなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
6. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

1. 工具類（ブレードなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
2. 工具類の交換は手袋・ウエスなどで手を保護してから行ってください。
3. 作業直後の工具類（ブレードなど）、材料、切りくずなどは非常に熱くなっているので、触れないでください。
4. 工具類（ブレードなど）でコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張ったり、引っかけたりしないようにしてください。
6. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。
7. 工具類（ブレードなど）および取り付け面の切粉などを拭き取ってください。

注

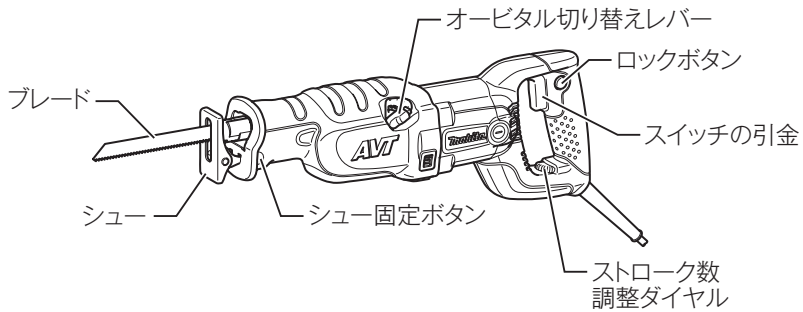
- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
0.75 mm ²	20 m	—	—
1.25 mm ²	30 m	15 m	10 m
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ ブレードセット品 (各 1 枚)
 - BIM33 : 軟鋼、非鉄金属 1 ~ 8 mm 厚
プラスチック 10 ~ 50 mm 厚
外径 75 mm 以下のパイプ
 - BIM34 : 軟鋼、非鉄金属 3 ~ 10 mm 厚
プラスチック 5 ~ 100 mm 厚
木材 5 ~ 100 mm 厚
外径 75 mm 以下のパイプ
- ・ プラスチックケース

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ レシプロソーブレード (5 枚入り)

No.	用途	能力	全長 (mm)	山数	部品 番号
21	鉄工用	・ 厚さ 1 ~ 3 mm の軟鋼板 ・ 外径 50 mm 以下のパイプ	125	24	A-20703
22	鉄工用	・ 厚さ 2 ~ 6 mm の軟鋼板 ・ 外径 90 mm 以下のパイプ	165	18	A-20719
23	木工用	・ 木材・集成材 80 mm 以下	165	9	A-20725
23B	木工用	・ 木材・集成材 90 mm 以下	150	6	A-20731
24	鉄工用	・ 厚さ 1 ~ 3 mm の軟鋼板 ・ 外径 90 mm 以下のパイプ	165	24	A-20747

別販売品のご紹介

- ・ バイメタルレシプロソーブレード (5枚入り)

No.	用途	能力	全長 (mm)	山数	部品 番号
BIM22	鉄工・ プラスチック用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ 6 mm 以下の鋼板・非鉄金属 ・ 厚さ 15 mm 以下のプラスチック ・ 外径 90 mm 以下のパイプ、チャンネル (ステンレスパイプ、チャンネル可) 	170	18	A-31669
BIM29	プラスチック・ 木工用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ 15 mm 以下のプラスチック ・ 釘の入った木材 (パレット) ・ 外径 160 mm 以下のパイプ (鉄パイプ、チャンネル可) 	250	14	A-36485
BIM30	鉄工・ プラスチック用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ 6 mm 以下の鋼板・非鉄金属 ・ 厚さ 15 mm 以下のプラスチック ・ 外径 160 mm 以下のパイプ、チャンネル (ステンレスパイプ、チャンネル可) 	250	18	A-36491
BIM27	ALC・鉄工・ 木工用	<ul style="list-style-type: none"> ・ ALC、釘の入った木材 (パレット) ・ 厚さ 15 mm 以下のプラスチック ・ 外径 180 mm 以下のパイプ、チャンネル (鉄パイプ、チャンネル可) ・ 鋼板・非鉄金属厚さ 2.6 mm 以上・6 mm 以下 	300	10	A-31675
BIM28	鉄工・ プラスチック用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ 6 mm 以下の鋼板・非鉄金属 ・ 厚さ 15 mm 以下のプラスチック ・ 外径 180 mm 以下のパイプ、チャンネル (ステンレスパイプ、チャンネル可) 	300	14	A-36479
BIM31	鉄工用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼板・非鉄金属厚さ 1.5 mm 以上・6 mm 以下 ・ 鉄パイプ・アングル口径 120 mm 以下 	200	8	A-40593
BIM32	鉄工用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼板・非鉄金属厚さ 2.5 mm 以上・6 mm 以下 ・ 鉄パイプ・アングル口径 120 mm 以下 	200	5	A-40602
BIM33	鉄工用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軟鋼、非鉄金属厚さ 1 ~ 8 mm ・ プラスチック厚さ 10 ~ 50 mm ・ 外径 75 mm 以下のパイプ 	150	7~18	A-42911
BIM34	複合材用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軟鋼、非鉄金属厚さ 3 ~ 10 mm ・ プラスチック厚さ 5 ~ 100 mm ・ 木材 5 ~ 100 mm ・ 外径 75 mm 以下のパイプ 	150	6~11	A-42927

使い方

ブレードの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ブレードの取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

ブレードおよび取り付け面の切粉などを拭き取ってください。

- ・ ブレードの取り付けが不完全となり、はずれたり、折れたりしてけがの原因になります。

ブレードは確実に取り付けてください。

- ・ 確実でないと、はずれたり、けがの原因になります。

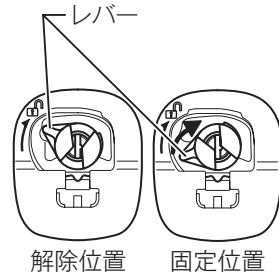

作業直後のブレードは大変熱くなっていますので触れないでください。

- ・ やけどの原因になります。

ブレードを取りはずす際、ブレードの刃先、切削くずなどに注意してください。

- ・ けがの原因になります。

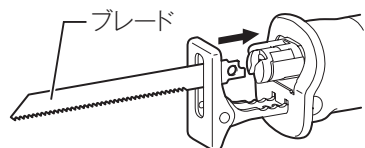
取り付け方

- ・ ブレードを差し込む前に、レバーが「解除位置：

この図は、レバーの操作を示しています。左側の図は「解除位置」で、レバーが矢印の方向に回転している状態を示しています。右側の図は「固定位置」で、レバーが矢印の方向に回転し、ブレードを固定している状態を示しています。両図とも「レバー」というラベルが指し示されています。

注

- ・ ブレードが奥まで入っていない状態で使用しますと、ブレードが抜けることがあります。




使い方

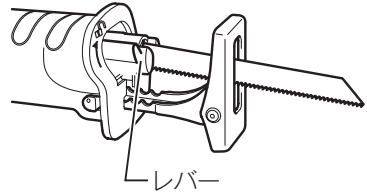
取りはずし方

⚠ 注意



スイッチ操作する場合は、レバーに指や手などを近づけないでください。

- ・ けがの原因になります。

- ・ レバーが本製品の中に入っている場合は、スイッチを軽く入れて図のように外へ出してください。
- ・ スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ レバーを矢印の方向に止まるまで回転させるとブレードが外れ、レバーが「解除位置：」で固定されます。





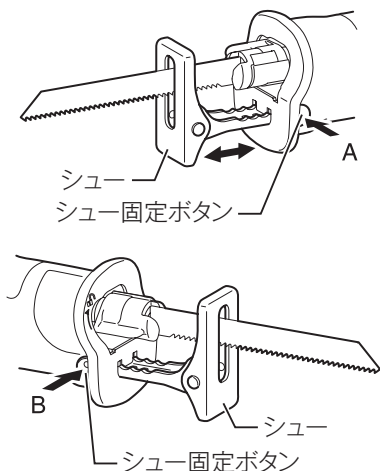
注

- ・ レバーが止まるまで回転させずにブレードを抜くと、レバーが「解除位置：」で固定されない場合があります。この場合、レバーを再び矢印の方向に止まるまで回転させて「解除位置：」で固定してください。

使い方

シューの位置調整

- ・ ブレードの一部だけ切れ味が悪くなったような場合には、ブレードの刃部全体が有効に使用できるようにシューの位置を調整してください。
- ・ シュー固定ボタン  を「カチッ」と鳴るまで A 方向に押します。
- ・ 図の矢印の方向にシューが動き、5 段階で位置調整が可能です。
- ・ シュー固定ボタン  を B 方向に「カチッ」と鳴るまで押しとシューが固定されます。

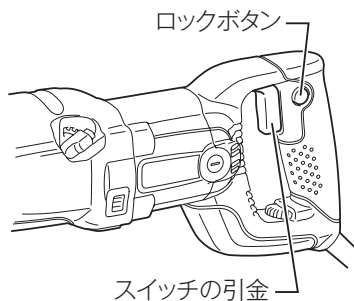


スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

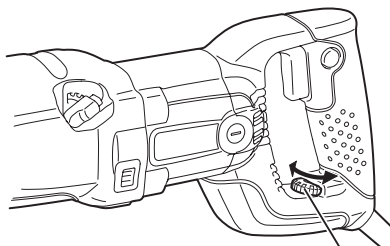
- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。
- ・ スイッチは引金を引くと入り、放すと切れます。
- ・ スイッチの引金の引き加減によりお望みのストローク数が得られます。
- ・ スイッチの引金をいっぱい引いてからロックボタンを押すと、引金を放しても引金が固定され連続運転します。
- ・ 停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を放してください。



使い方

ストローク数の調整

- ・ ストローク数の調整はストローク数調整ダイヤルで行います。
- ・ 作業内容によりストローク数を無段階に調整することができます。
- ・ 数字が大きくなるほどストローク数が多くなります。
- ・ 作業しながらでもストローク数を調整することができます。



ストローク数調整ダイヤル

- ・ 材料の種類にあったダイヤル表示を選んでください。

ストローク数の目安

ストローク数調整ダイヤル	ストローク数 [min ⁻¹] (回 / 分)
6	2,800
5	2,500
4	1,850
3	1,400
2	1,000
1	950

材料	ダイヤル表示
木材	6
ALC	5 ~ 6
鉄パイプ、鋳鉄管	3 ~ 4
アルミ	3 ~ 5
プラスチック	1 ~ 4
ステンレス	1 ~ 2

注

- ・ 一般的に高速では速く切れますが、レシプロソーブレードの寿命が短くなります。また、低速では速くは切れませんが、レシプロソーブレードの寿命は長くなります。適宜調整してください。
- ・ ストローク数調整ダイヤルは1→6、6→1へと回すことができません。無理に回しますと故障の原因になります。必ず1→2…5→6、6→5…2→1の順番に回してください。

使い方

本製品には下記のような特性があり、扱い易くなっています。

定回転制御

- 作業中負荷がかかっても工具の回転が下がりにくく、回転を維持するので高い作業性が得られます。

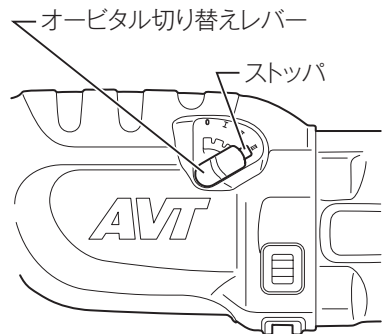
ソフトスタート

- スイッチを入れたとき、反動を抑えスムーズに動きはじめます。

オービタル運動量の調整

オービタル運動

- レシプロソーブレードが上下・前後・同時に動く運動をさします。これにより切断能率がよくなります。
- オービタル運動量の切り替えは、本製品の側面にあるオービタル切り替えレバーで行います。ストップを押した状態で、オービタル切り替えレバーの位置を用途に合わせて切り替えてください。ストップを放すと、オービタル切り替えレバーはロックされます。



セット位置	オービタル運動量	用途
0	オービタルなし 	軟鋼板・ステンレス・プラスチックの切断および木材・合板のきれいな切断
I	小振り 	軟鋼板・アルミ・硬質木材の切断
II	中振り 	木材・合板の切断・アルミ・軟鋼板の高速切断
III	大振り 	木材・合板の高速切断

使い方

切断方法

⚠ 注意

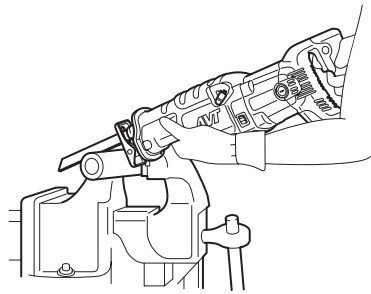
シューを取りはずしての使用、シューを材料から離しての使用、または、急激にブレードをひねるような切断はしないでください。

- ・ ブレードが折れたりして、けがの原因になります。

金属を切断するときは熱い切粉が出ますので、必ず手袋を着用してください。

- ・ やけどの原因になります。

- ・ 金属を切断する場合は切削油を塗布してください。
- ・ シューを材料にしっかり押し当ててください。
- ・ ブレードを材料に軽く接触させます。
- ・ スイッチの引金を少し引き、低速で切り始めます。
- ・ ブレードの位置が決まったらスイッチの引金を大きく引き、高速で切断します。



注

- ・ シューを取りはずしたり、材料から離して使用しますと、反動が大きくなりブレードの破損原因となります。

保守・点検について

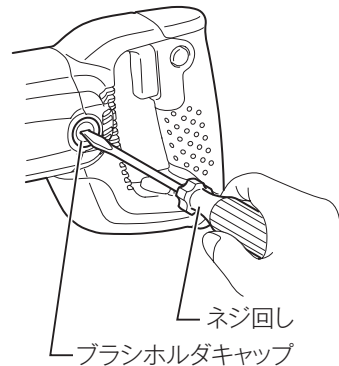
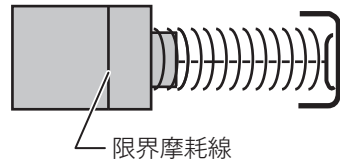
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
 - ・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
 - ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
- カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。



本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

882217F5
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)